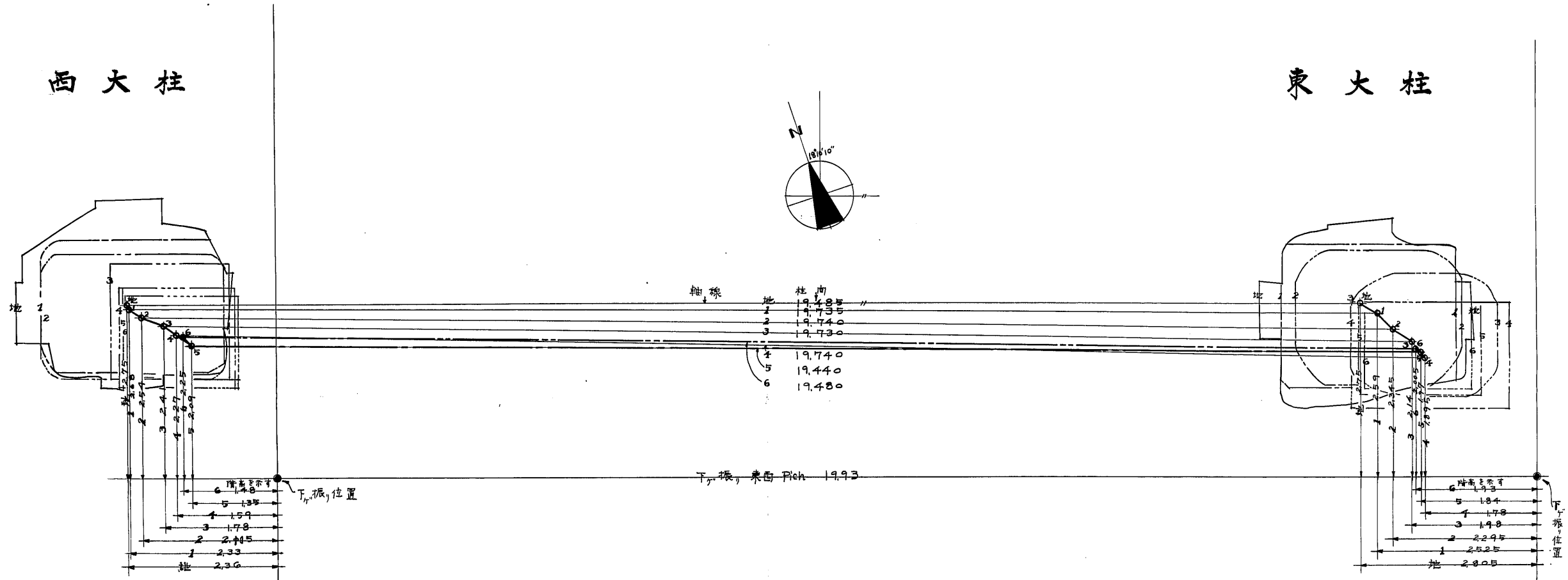


姫路城天守調査の内 東西大柱傾斜度實測平面図

縮尺 十分之一

昭 30.12.23 調査



地階を基準とした傾斜計算表

地階	西大柱		東大柱		備考 (各大柱位敷値方向)	
	東傾斜	南傾斜	東傾斜	南傾斜	西大柱	東大柱
6階床下	.880	.500	.875	.745	1.012	1.149
5.床面	1.010	.660	.965	.780	1.206	
4.床面	.770	.480	1.025	.855		1.334
3.床面	.580	.340	.825	.610		
2.床面	.255	.210	.510	.405		
1.床面	.030	.070	.280	.160		
地階*	0	0	0	0		

*地階の基準位置は現状の床面(1階床面以下11.65)とす。

調査の方法

1. 地階に於て東西大柱の真直線に調査し、各々南へは275、東へは任意の長(「下振」として)と各階迄の通し各階に於て柱の中心迄を測定した。
2. 各階に於て柱心とは柱脚物の真直線ではなく、柱に差の付いた梁の当初調査と調査に中心を以て心とした。

調査の答

1. 東西大柱間は地階と6階床下の柱間を示す寸法とは集合致す。之を当初の寸法と見做せば途中階は柱太りに変形している。
2. 各階に於て東西大柱間の軸線と移動している。
3. 東西大柱の傾斜角、これは東南方向にて且同一数値ではない一覽表左記の通り。